

JIS

磁気インキ文字読取用字体 及び印字仕様 (E13B)

JIS X 9002-1980

(2001 確認)

(2007 確認)

昭和 55 年 12 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 46.3.1 改正：昭和 55.12.1 確認：平成 13.8.20
官報公示：平成 13.8.20
原案作成協力者：社団法人 日本電子工業振興協会
審議部会：日本工業標準調査会 情報部会（部会長 和田 弘）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 情報電気標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

磁気インキ文字読取用字体
及び印字仕様 (E13B)

X 9002-1980

(2001 確認)

Print Specifications for Magnetic Ink Character Recognition (E13B)

1. 適用範囲 この規格は、文字読取りに使用する磁気インキで印字された E13B 型の 10 個の数字及び 4 個の特殊記号の字形、寸法及び各種の許容範囲を規定する。

また、この規格では、印字品質及び信号レベルの測定方法についても規定する。

2. 用語の意味 この規格で用いる主な用語の意味は、次のとおりとする。

- (1) 磁気インキ 磁化することができ、電気磁気的方法で感知することができるインキ。
- (2) 磁気インキ文字 磁気インキで印字された文字。単に文字ともいう。
- (3) ストローク 14 種類の数字及び記号からなる E13B 型の個々の文字の名称。
- (4) 水平基準線 文字の垂直方向の相対寸法を規定するための基準線。
- (5) 垂直基準線 文字の水平方向の相対寸法を規定するための基準線。
- (6) 平均線ふち 文字線のふちのおうとつを平均に 2 分する仮想的な線。
- (7) 公称寸法 文字の水平基準線及び垂直基準線から線ふちまでの標準寸法。
- (8) 文字設計マトリックス 文字の字形を設計するのに基準となる 7×9 個のます目。
- (9) 文字の線幅 文字線の両側の平均線ふち間の距離。
- (10) 文字間隔 隣接する文字の右端の平均線ふち間の距離。
- (11) 字並び 文字の上下の位置ずれ。
- (12) ボイド 平均線ふちの内部において磁気インキが紙面に付着していないかけの部分。
- (13) クリアバンド 磁気インキ文字が印字される帯状の区域。このバンド内には、磁気インキ文字以外のどのような磁気インキも付着してはならない。
- (14) スポット クリアバンドの内部において、磁気インキが紙面に付着している余分な磁気インキの部分。
- (15) 印字欄 クリアバンド内で印字のためにあらかじめ定められた区域。
- (16) 共通印字欄 印字の内容が利用者に共通な一定の様式に従う印字欄。
- (17) 固定様式 印字の内容が利用者間で定められた約束に従う様式。
- (18) 可変様式 印字の内容が個々の利用者の必要に応じて自由に変えられる様式。
- (19) 標準印字見本 非常に精密に印刷された E13B 型字体の各文字からなり、各文字の公称信号レベルを設定するための一組の印字見本。
- (20) 補助印字見本 できるだけ標準印字見本に近い相対信号レベルを持つ印字見本で、信号レベルの測定に使用する試験装置の目盛の校正に使用するためのもの。

3. 文字の種類と大きさ

3.1 文字の種類 磁気インキ文字は、10 個の数字及び 4 個の特殊記号とし、名称はそれぞれ次のとおりとする。